

別紙3・浦戸諸島エリア(市内事業者ヒアリング調査調査結果から出てきた地域資源)

地区	観光拠点	ハード(建物・空間)	ソフト(祭、催事、商品等)	ポテンシャル(潜在資源など)	
浦戸諸島	桂島	海水浴場	ウォーキング(1日島歩き「エコウォーク」)	「みちのく潮風トレイル」構想—松島湾ルート	
		釣り場	島めぐりツアー	「だんべっこ船」と浦戸ブルーセンターの連携案	
			菜の花や水仙	林間学校	
			釣り	島の強みを生かしたコミュニティ	
				松島の宿泊客向け体験教室、アクティビティ	
				コスプレ(島自然が舞台)※震災前から聖地	
	野々島	椿トンネル、菜の花、ラベンダー遊歩道		ウォーキング	花の島
				盆踊り、花火大会	
				手作りベンチ、海辺のウッドデッキ	カヌー体験基地
				だんべっこ船の島めぐりツアー(野々島感動支援隊)	海辺でのキャンプ(※現在不可)
				「がんばる浦戸の母ちゃん会」手作りお弁当	島オリジナル弁当の商品化
		浦戸小中学校(小中一貫校)	生徒の体験学習(アサリ取り、カヌー教室)		
			「アワビやウニを素潜りで採る」※ガイド例	空家活用した民宿(コーヒー、食事提供)	
			「牡蠣の種付けから生産販売まで」※ガイド例	景色が楽しめる見晴らしい場所	
				穏やかな海で心と体を癒す島時間	
			市外からの通学者・保護者とのネットワーク		
	震災後に現れた「洞穴」(ボラ) ※他の島に	数百年前の遺構、遺産			
		野々島～寒風沢の渡し船(塩竈市営)	浦戸開発センター民営化		
寒風沢	農地(耕作可は小)		寒風沢米(地元酒にも利用)、野菜(タマネギ、茶豆など)	耕作放棄地を利用した体験農業	
			四方山話(『古げたのおばけ』)	有機農業で浦戸ブランド化 (コスト問題はあるが水系確定できめ細かい完全な保全型農業が可能)	
朴島	宝島(たからじま)と言われた島		松島湾プロジェクト主催(ハゼ釣り)		
【浦戸共通】	手付かずの自然が残っている 海苔、牡蠣の養殖場、加工場		有人島は4島。他200以上もある島々		
			海苔、牡蠣、ハゼ	「次産業は海苔、牡蠣の養殖場、加工作業は9割は島内」	
				塩竈本土をつなぐルート(駅、亀井家、北前船など)	
			島ガイド達人(元塩竈職員、丸文松島汽船の社長)	年間通じ美味しい海と山の幸、自給自足	
			ネコ(猫島、各島生息)		
			丸文松島汽船、仙台・旅行会社でのツアー		
				島の昔話(かけた島の大蛸など)	
			島外との関係で生業にしてきたことが多い	社会教育系の団体などの視察、研修の需要ある	
				浦戸はいい教育環境、産業と観光の育成の場になる	
				指導漁業士・漁師さんは観光力がある	
		研修、学習的ツアーで松島高校の観光科生徒ガイド役は最高。(松島発着で浦戸に行く発想)			
		観光で島おこしのマインドがまだ弱い			
		松島、仙台の間の離島に人を呼び込む導線がないが、できれば可能性がある			